

祝「百舌鳥・古市古墳群」世界文化遺産国内推薦決定！
「前方後円墳型ヘッドマーク」
掲出車両を続々運行！

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦）と泉北高速鉄道株式会社（社長：福田 順太郎）では、「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録に向けて、堺市内の周遊に便利な企画乗車券「ハニワ課長のさかい最高きっぷ」の発売や「前方後円墳型ヘッドマーク」掲出車両2編成を運行しています。

このたび、同ヘッドマークが好評を博していることから、平成29年9月13日（水）からさらに掲出車両を7編成増やして実施します。詳細は以下のとおりです。

「前方後円墳型ヘッドマーク」掲出車両追加の概要

1. 実施日 平成29年9月13日（水）から順次掲出
2. 追加車両

- 【南海電鉄】・南海本線、空港線、和歌山港線を運行する8300系3編成（各6両）
・高野線（難波～橋本間）、泉北高速鉄道線（中百舌鳥～和泉中央間）を運行する6300系3編成（各6両）
- 【泉北高速鉄道】・泉北高速鉄道線（中百舌鳥～和泉中央間）、高野線（難波～中百舌鳥間）を運行する3000系1編成（6両）

※車両運用などの都合で、掲出期間・車両が変更となる場合があります。

※掲出期間中、他のヘッドマークの掲出が行われる場合があります。



南海電鉄 6200系

参考：「前方後円墳型ヘッドマーク」掲出車両運行について

1. 掲出実施期間 平成29年8月8日（火）
～平成30年1月31日（水）
2. 掲出中の車両
【南海電鉄】・南海本線、空港線、和歌山港線を運行する9000系1編成（6両）
・高野線（難波～橋本間）、泉北高速鉄道線（中百舌鳥～和泉中央間）を運行する6200系1編成（6両）
【阪堺電車】・モ351形5両
・1001形〔愛称：堺トラム〕3両
※前方後円墳の図形が描かれた円形ヘッドマークを掲出

以上